

5-Ph-IAA: オーキシン誘導性デグロン 2 システムの誘導剤

| | |
|-----------|-------|
| 30-003 | 10mg |
| 30-003-10 | 100mg |

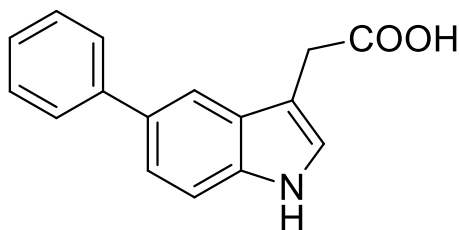
出荷と保管: 常温または 4°C 以下で発送。原液を作り、分注し、-20°C 以下で保存する。

原液: 100mM 原液は、5-Ph-IAA 10mg を DMSO 等の 400 μ L 溶媒に溶かし、-20°C 以下で 1 年間又は -80°C で更に長期間保存できる。

使用法: 5-Ph-IAA は、Auxin Inducible Degron 2 システムにおけるデグロン融合たんぱく質の分解を誘発する。細胞培養の分解誘導には、DMSO に溶解した原液を薄めて用いる。5-Ph-IAA 典型的には 1 μ M 未満で作用する。マウスの場合は、PBS に溶解した 5-Ph-IAA 溶液を用いる。通常、腹腔内注射では 10mg/kg 未満で有効である。プロトコルの詳細については、リファレンスを参照。

| | |
|-----------|---|
| 商品名: | 5-Ph-IAA |
| 化学名: | 5-フェニル-1H-インドール-3-酢酸 |
| CAS 登録番号: | 168649-23-8 |
| 化学式: | C ₁₆ H ₁₃ NO ₂ |
| 分子量: | 251.28 |
| 純度: | > 98% |

オーキシン誘導性デグロン 2 系の誘導物質 5-Ph-IAA の分子構造



5-Ph-IAA

本品は、ヒトに使用してはならず、研究目的のみに使用するものである。

特許:本品を「オーキシン誘導型デグロンシステム」で使用する場合は、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 (NIG/ROIS)及び学校法人加計学園 (KEI) が保有する特許技術の対象となり、営利企業の研究者は、NIG/ROIS 及び KEI からライセンスを受ける必要があります。

連絡先: chizai@nig.ac.jp 国立遺伝学研究所 産学連携・知的財産室

参考文献: プロトコール

Yesbolatova A et al. The Auxin-Inducible Degron 2 technology provides sharp degradation control in yeast, mammalian cells, and mice. Nat Commun. 2020 11: 5701.
PMID: [33177522](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33177522/)

製品安全データシート(MSDS)

1. 同定

製品名: 5-Ph-IAA

化学名: 5-フェニル-1H-インドール-3-酢酸

製品コード: 30-003. 30-003-10

供給業者: バイオアカデミア株式会社

住所: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3-1 大阪大学微生物病研究所 北館

電話: 06-6877-2335 ファックス: 06-6877-2336

電子メール: info@bioacademia.co.jp

2. 危険有害性の特定

物質または混合物の分類: 物質

物理的危険性: 区分外

健康有害性: 区分外

環境有害性: 区分外

ラベルの標識

絵表示や危険有害性シンボル: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

3. 組成・成分情報

物質/混合物: 物質

CAS登録番号: 168649-23-8

化学式: $C_{16}H_{13}NO_2$

分子量: 251.28

公定書参照番号による通知

ENCS: リストされていない

4. 緊急時の対策

吸入: 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で安静に保つ。気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意して洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師の診察/手当を受けること。口をすすぐ。

第一救助者の保護: 救助者は、ゴム手袋や気密ゴーグルなどの個人用保護具を着用すべきである。

5. 火災時の措置

適切な消化剤: 乾燥薬品、泡沫、水スプレー、二酸化炭素。

本化学物質から生じる特定の危険性: 燃焼時または高温で分解し、有毒なフュームを発生させる可能性があるので注意すること。

6. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

取り扱いは換気の良い場所で行う。適切な保護具を着用してください。

粉塵の拡散を防ぐ。取り扱い後は手と顔をよく洗ってください。

ほこりやエアロゾルが発生する場合は、局所排気を使用してください。

安全な取扱いに関する助言: 皮膚、眼及び衣類との接触を避けること

7. 暴露管理/個人防護

工学的管理: 作業者が直接曝露されないように、できるだけ閉鎖系又は局所排気を設置すること。

安全シャワーと眼浴も設置

コントロールパラメータ: 設定せず

個人用保護具

呼吸用保護具: 粉塵用呼吸保護具。地方および国の規制に従う。

手の保護具: 保護手袋

眼の保護具: 安全メガネ。

皮膚および身体の保護具: 保護衣。

8. 物理的及び化学的性質

物理的状态 (20°C): 固体

形態: 結晶粉末

色: 無色～微黄色。

臭気: データなし

pH: データなし:

引火性又は爆発性の限界:

下限: データなし

上限: データなし

相対密度: データなし

溶解性:[水]: データなし

[その他の溶媒]可溶性:メタノール、アセトン、DMSO、DMF

9. 安定性及び反応性

化学的安定性: 適切な条件下で安定。

危険有害反応の可能性: 特別な反応性は報告されていない。

不適合材料: 酸化剤

有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物 (NO_x)

10. 毒性学的情報

急性毒性: データなし

皮膚腐食性/刺激性: データなし

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性:

IARC = 入手できるデータなし

NTP = 入手できるデータなし

生殖毒性: データなし

11. 生態学的情報

生態毒性:

魚類: データなし

甲殻類: データなし

Algae: データなし

残留性/分解性:

生物蓄積性 (BCF): データなし

土壌中の移動性: データなし

Log Pow (分配係数、疎水性):)データなし

土壌吸着(Koc): データなし

ヘンリーの法則

定数(PaM³/mol): データなし

12. 廃棄上の注意

可能であればリサイクルする。地域の当局に相談してください。可燃性の溶剤で物質を溶かしたり、燃やすことは、アフターバーナーとスクラバーシステムを備えた化学焼却炉で行うことができます。物質を処分する際には、国および地方のすべての規制を遵守すること。

13. 輸送情報

危険有害性クラス: 国連の分類基準に該当しない

UN-No: 記載なし

14. 規制情報

この物質の中で、SARA Title III、Section 302 の報告要件の対象となる化学物質、または SARA Title III、Section 313 により設定された閾値報告レベルを超える既知の CAS 番号を有する化学物質はない。

15. その他の情報

この安全データシートは、公表日に我々の知る限りでは正しいが、すべての情報を含めることを意図したものではなく、指針としてのみ使用するものとする。適切に設備され、認定された施設において、適切な資格を有する経験豊富な科学者によってのみ取り扱われなければならない。この物質を安全に使用することの責任は、使用者に完全に依存する。バイオアカデミア株式会社は、上記製品の取扱いまたは接触に起因するいかなる負傷または損傷に対しても責任を負わないものとする。

本品は、ヒトに使用してはならず、研究目的のみに使用するものである。